トイレの困った、問題行動はありませんか？

留守中のワンちゃんの困った癖！トイレじゃないところにしてしまう・・・

物を壊す、間違ったところでトイレをするなど、留守中に問題行動がある場合
『分離不安症』かもしれません！！
一人でも大丈夫だと教えるために、甘やかさないしつけが大切です。

☆なるべく小さいうちに他の人や犬に慣らして社会性をつけてあげることが大切

普段から構いすぎないようにし、興奮している間は声をかけたり見たりしないで無視するなど。
飼い主が少しくらいいなくても大丈夫、というしつけをしましょう。

☆分離不安症になってしまったら　（分離不安症のワンちゃんはいっぱいいます）

分離不安症になってしまったワンちゃんを自立させることはとても大変です。
また、この症状を根本的に治療するお薬はありません。
飼い主さんががんばって、飼い主さんが変わることが大切です。

・５分など、短い時間から少しずつ慣らしていく
・甘やかしすぎない
・出かける時にわざわざ声をかけない

ワンちゃんの困った癖！ウンチを食べてしまう・・・

体調、食事量、体重などに問題がない場合
『ストレス』『甘え』『飼い主さんへのサイン』が原因かもしれません
いろいろな理由から食フンをする可能性がありますが、よくある事例を紹介します。

☆子犬　赤ちゃんのうちは、うんちが何かよくわかっておらず、ごはんとにおいがよく似ているため間違って食べてしまっているということがよくあります。

☆老犬　老犬は痴呆が原因で、間違って食べてしまっていることがよくあります。
子犬と同じくにおいが似ていることが原因です。

☆成犬　成犬の場合は問題行動である場合が多々あります。ストレスなどの心の問題が起きている可能性があります

ストレス

散歩や遊びの量を増やしてあげましょう。たっぷり遊んであげることで、食フンしなくなることがあります。

さみしさ、退屈しのぎ

自分を見てほしいというアピールかも。
食フンをしていても騒がず無視する、素早くうんちをかたずけるなどの対策でそのうちになくなっていきます。

叱られたトラウマ（隠すために食べる）

ウンチを失敗した時に叱られた経験から、うんちが悪いものだと思い込んでいる可能性があります。そのため、うんちをしたら隠すために食べているかもしれません。
トイレを失敗しても騒いだり叱ったりせずに、上手にできたらほめるというやり方でしつけるようにすると食フンはしなくなります。

このように、こまった癖のなかにもしつけの仕方で防げることもあります。
愛するわんちゃんのためにも、工夫してしつけてあげましょう。

ライオン動物病院　フリーダイヤル　０１２０－１３７７０６